

これまでの主な取組

県の取組

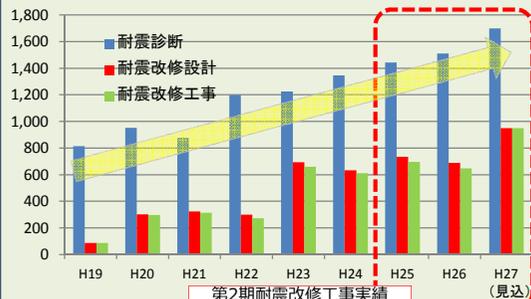
- 診断、設計、改修への財政的支援
- 住宅耐震化の啓発チラシの作成と市町村・事業者等への配布
- 新聞・テレビCM等による耐震化の必要性や補助制度の周知
- 防災イベント等における耐震化の普及啓発
- 住宅耐震化促進に関する事業者等との意見交換
- 事業者を対象とした低コスト工法講習会の開催

連携による推進

市町村の取組

- 診断無料化、設計・改修への上乗せ補助の実施
- 戸別訪問の実施、代理受領の導入

これまでの実績



見えてきた課題

- ① 需要の掘り起こし**  
耐震化の必要がないと思っている人が多い  
→ 啓発の強化  
改修工事の費用負担が大きい  
→ 住宅所有者の費用負担軽減
- ② 供給能力の増強**  
低コスト工法を活用できる事業者が少ない  
→ 事業者の育成

第3期南海トラフ地震対策行動計画の取組

目標：耐震改修 4,500棟

課題解決の取組方針

住宅所有者の費用負担の軽減や啓発の強化による需要の掘り起こしと事業者の育成による供給能力の増強

需要の掘り起こし

啓発の強化

- 新規** ●戸別訪問や地元説明会等の質の向上 (啓発ツールの充実)
- 新規** ●登録事業者の営業力向上 (講習会の開催)
- 地域本部との連携による学習会の開催



供給能力の増強

事業者の育成

- 新規** ●ペーパー登録事業者の事業参加促進
- 新規** ●市町村における補助金手続の簡素化 (診断・設計・工事の一括申請)
- 事業者の新規登録の促進

住宅所有者の費用負担軽減

緊急アクションプラン

耐震化を阻む最大のネックである住宅所有者の費用負担を大胆に軽減

STEP1 とにかくやる気になってもらう

アクション①

拡充 全市町村で戸別訪問を実施

STEP2 何はともあれ設計まではやってもらう

アクション②

拡充 耐震設計の費用負担軽減を促進

STEP3 設計を着実に工事に繋げる

アクション③

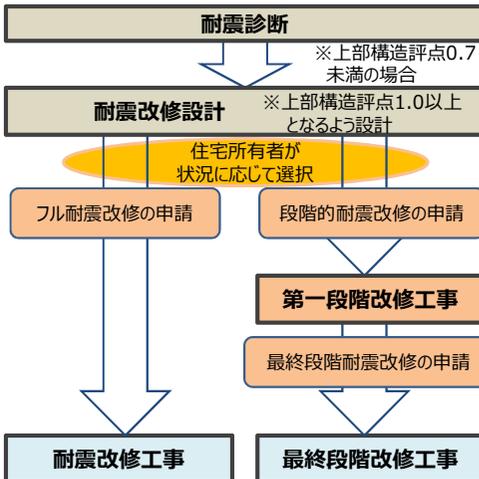
新規 段階的耐震改修を支援

住宅段階的耐震改修支援事業の創設

倒壊の可能性が高い住宅の倒壊リスクを軽減させるため、上部構造評点が0.7未満の住宅に対して、第一段階として0.7以上に向上させる改修工事を支援

【上部構造評点】  
 ~0.7 倒壊する可能性が高い  
 0.7~1.0 倒壊する可能性がある  
 1.0~ 一応倒壊しない

【段階的耐震改修工事の流れ】



【段階的耐震改修工事のパターン例】

